

# GRANPOWER5000 モデル 580 取扱説明書

## 追記・訂正事項

このたびは、弊社の GRANPOWER5000 モデル 580 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバに添付の『GRANPOWER5000 モデル 580 取扱説明書』(B1FH-5241-01)などのマニュアル類に 1999 年 10 月発表タイプ追加に伴う記述の追記・訂正がございましたので、下記のとおり追記または訂正させていただきます。

平成 11 年 10 月  
富士通株式会社

### GRANPOWER 5000 モデル 580 取扱説明書

#### 1. SCSI アレイコントローラカード GP5-145/GP5-146 の追加について (訂正)

取扱説明書本文内に GP5-144 の記述がある場合、以下のように読み替えてください。

訂正前	訂正後
GP5-144	GP5-144 / GP5-145/GP5-146

#### 2. 設置から運用まで (関連ページ: 「1.3 設置から運用まで( 10 ページ) 」) (追記)

ServerWizard を使って設置から運用までを行なうかどうかは、ご購入のタイプと希望するインストール方法によって異なります。以下の表に従って、ServerWizard を設置から運用までを行なうかどうかを選択してください。

ご購入のタイプ	インストールする OS, または プリインストールされている OS	「設置から運用までの流れ」の参照箇所
FD タイプ	WindowsNT Server4.0 SBS4.0 / SBS4.5 WindowsNT Server4.0 Enterprise Edition	「ServerWizard を使ってセットアップする場合」/「ServerWizard を使わずにセットアップする場合」どちらも可能
	上記以外	「ServerWizard を使わずにセットアップする場合」
OS インストールタイプ	WindowsNT Server4.0 SBS4.0 / SBS4.5 WindowsNT Server4.0 Enterprise Edition	「ServerWizard を使ってセットアップする場合」/「ServerWizard を使わずにセットアップする場合」どちらも可能
	上記以外	「ServerWizard を使わずにセットアップする場合」

## Server Wizard を使ってセットアップする場合

### 4 内蔵オプションを取り付ける

#### 重要

Server Wizard を使ってセットアップするときは、事前に取り付けられる内蔵オプションは決まっています。事前に取り付けることができない内蔵オプションは、Server Wizard のセットアップを終了してから、取り付けてください。

——▶「Server Wizard ソフトウェアガイド」の「第 1 章 Server Wizard V1.0 の概要」  
事前に取り付けることが出来ない内蔵オプション

暗号プロセッサカード	GP5-CP101
------------	-----------

#### 注意

内蔵オプションを取り付けるときは、取り付ける位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。

——▶「第 5 章 内蔵オプションの取り付け」、「各オプション装置の取扱説明書」

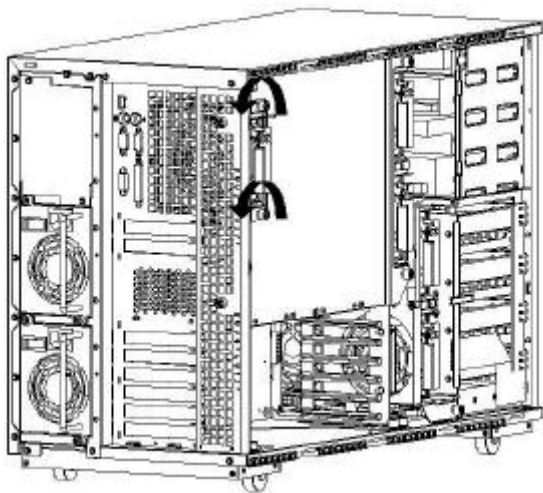
### 3. ボードサポートパネルの取り外しについて (訂正)

(関連ページ: 「5.2.3 ボードサポートパネルの取り外し ( 122 ページ) 」)

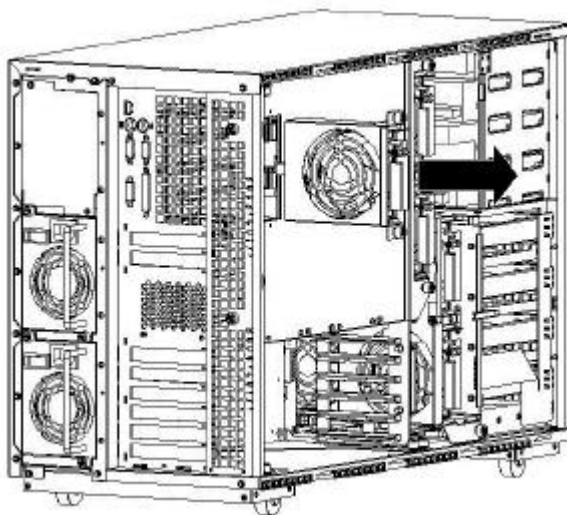
本サーバでは、拡張 RAM モジュールまたは CPU を取り付けたり取り外す場合は、サイドカバーを取り外した後で、ボードサポートパネル・冷却用ダクトを取り外す必要があります。

取り外し手順

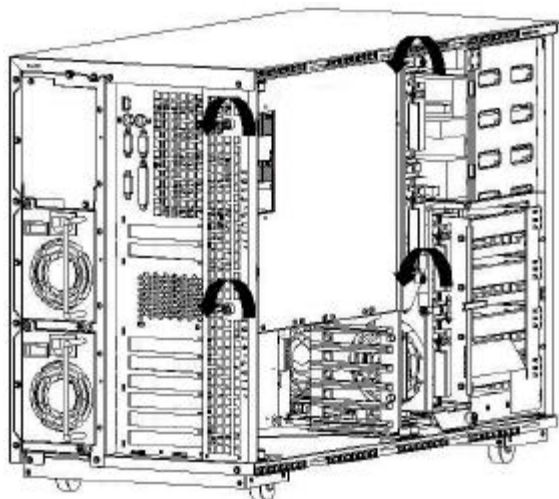
1. 冷却用ファンの固定用の止めネジを2箇所ゆるめます。



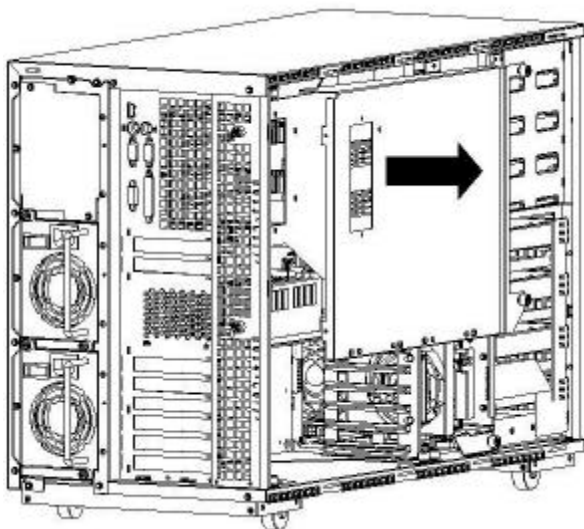
2. 冷却用ファンを手前に引き出します。



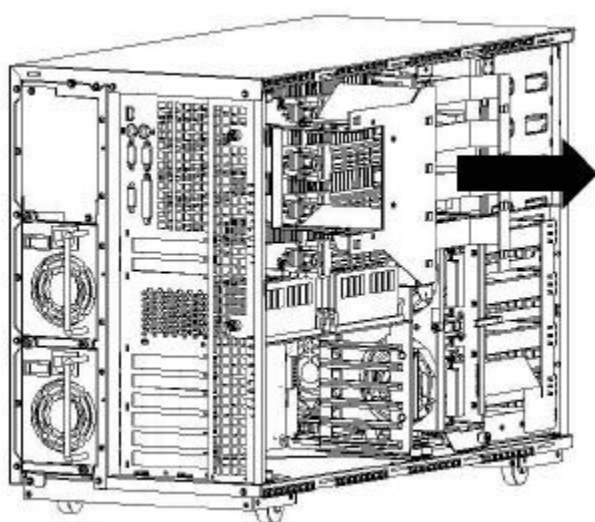
3. ボードサポートパネルの4箇所の止めネジをゆるめます。



4. ボードサポートパネルを手前に引き出します。



5. 冷却用ダクトを手前に引き出します。



#### 取り付け手順

ボードサポートパネル・冷却用ダクトは、上記と逆の手順で取り付けます。

なお、メモリーボードをボードサポートパネルの溝に確実に合わせてください。

---

#### ポイント

正常なシステム動作、および適正な冷却気流確保のため、本サーバに電源を入れる前に必ずボードサポートパネル・冷却用ダクトを取り付けてください。

---

#### 4. CPUフィールドアップグレードキットについて(訂正)

(関連ページ:「5.4 CPU 取り付け/取り外し( 126 ページ) 」)

本サーバは「CPU フィールドアップグレードキット(GP5-FG201/GP5-FG202)を用いて、最大4つのCPUを搭載することが出来ます。

なお、既にCPU1つで運用しているサーバで複数のCPUに増設する場合は、OSをマルチプロセッサカーネルに変更する必要があります。OSの変更については、「付録A.4 CPU増設時のOSの変更手順」を参照してください。

#### 5. 搭載可能な内蔵ハードディスクユニットについて(追記)

(関連ページ:「 搭載可能な内蔵ハードディスクユニットと搭載順序( 133 ページ) 」)

3.5インチストレージベイには、以下に示すUltra2 Wide SCSI対応の内蔵ハードディスクユニットを取り付けることができます。

品名	型名	備考
ハードディスクユニット 4GB	GP5-HDH45	4.5GB/7,200rpm
ハードディスクユニット 9GB	GP5-HDH93	9.1GB/7,200rpm
ハードディスクユニット 9GB	GP5-HDH97	9.1GB/7200rpm
ハードディスクユニット 18GB	GP5-HDH81	18.2GB/7,200rpm (最上段には搭載不可)
ハードディスクユニット 18GB	GP5-HDH84	18.2GB/7,200rpm
ハードディスクユニット 9GB	GP5-HDH94	9.1GB/10,000rpm
ハードディスクユニット 9GB	GP5-HDH98	9.1GB/10,000rpm
ハードディスクユニット 18GB	GP5-HDH82	18.2GB/10,000rpm (最上段には搭載不可)
ハードディスクユニット 18GB	GP5-HDH85	18.2GB/10,000rpm
ハードディスクユニット 36GB	GP5-HDH61	36.4GB/10,000rpm (最上段には搭載不可)

(注)起動直後に一時的に共振音を発生することがありますが、動作に支障はありません。

#### 6. 5インチストレージベイへの内蔵オプションの取り付け/取り外し(訂正)

(関連ページ:「 SCSI ID の設定と接続形態( 138 ページ) 」)

内蔵オプションは、ストレージベイに取り付ける前に、取り付けのベイに対応したSCSI IDに設定してください。

なお、DLTユニット(GP5-DL351)及び1/4インチCRMTユニット(GP5-ML301)を取り付ける場合は、SCSIカード(GP5-125/GP5-127)が必要です。SCSIカードの取り付けは、「5.6 拡張カードの取り付け/取り外し」を参照してください。

## 7. 拡張カードの搭載条件について(追記)

(関連ページ: 「 搭載可能な拡張カード( 144 ページ) 」)

(関連ページ: セットアップガイド「 拡張カードの搭載条件( 3 ページ) 」)

搭載カード		バス	搭載枚数	備考
SCSI アレイコントローラカード	GP5-141	PCI	最大 2	内蔵 / 外付けシステム用 GP5-144/GP5-145/GP5-146 と 同時搭載不可
SCSI アレイコントローラカード	GP5-144	PCI	最大 3	内蔵 / 外付けシステム用 GP5-141 と同時搭載不可
SCSI アレイコントローラカード	GP5-145	PCI	最大 2	内蔵 / 外付けシステム用 GP5-141 と同時搭載不可
SCSI アレイコントローラカード	GP5-146	PCI	最大 2	内蔵 / 外付けシステム用 GP5-141 と同時搭載不可
SCSI カード	GP5-123	PCI	最大 2	外付け SCSI 装置用
SCSI カード	GP5-125	PCI	最大 3	内蔵・外付け SCSI 装置用
SCSI カード	GP5-126	PCI	最大 3	GP5-R1DC3 / GP5-R1DC4 / GP5S622 接続用
SCSI カード	GP5-127	PCI	最大 3	内蔵・外付け SCSI 装置 / GP5-R1DC3 / GP5-R1DC4 / GP5S622 接続用
ファイバチャネルカード	GP5-FC101	PCI	最大 2 合計最大 3	
LAN カード (10BASE-5/2/T)	GP5-181	PCI	最大 3	
LAN カード (100BASE-TX)	GP5-182	PCI	最大 3	
LAN カード (1000BASE-SX)	GP5-183	PCI	最大 1	
LAN カード (100BASE-TX)	GP5-184	PCI	最大 3	
LAN カード (100BASE-TX)	GP5-185	PCI	最大 3	
ATM-LAN カード	FMV-187	PCI	最大 1	
クラスタキット 2	GP5S632	PCI	最大 1	
クラスタキット 3	GP5S633	PCI	最大 1	
クラスタキット 4	GP5S634	PCI	最大 1	
インターネットカード	GP5-NC101	PCI	最大 1 合計最大 3	サーバモジュール搭載時は合計最大 2
サーバモジュール	GP5-SM102	PCI	最大 1	
RS232C カード	GP5-162	PCI	最大 2	FMV-165 と同時搭載不可
ISDN カード	GP5-165	PCI	最大 2	FMV-166 と同時搭載不可
通信カード V/X	GP5-163	PCI	最大 2 合計最大 3	FMV-167 と同時搭載不可
RS-232C カード	FMV-165	ISA	最大 1	GP5-162 と同時搭載不可
ISDN カード	FMV-166	ISA	最大 1	GP5-165 と同時搭載不可
通信カード V/X	FMV-167	ISA	最大 1	GP5-163 と同時搭載不可
FAX モジュールカード	FMV-FX531	ISA	最大 1 合計最大 1	
ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード	GP5-161		最大 4	
暗号プロセッサカード	GP5-CP101	PCI	最大 1	2 スロット占有

PCI スロット	SCSI アレイ コントローラカード GP5-141 GP5-144 GP5-145 GP5-146	SCSI カード GP5-123 GP5-125 GP5-126 GP5-127 ファイバチャネル カード GP5-FC101	LANカード GP5-181 GP5-182 GP5-183 GP5-184 GP5-185 FMV-187 クラスキット2 GP5S632 クラスキット3 GP5S633 クラスキット4 GP5S634 インターネット カード GP5-NC101	RS232C カード GP5-162 ISDN カード GP5-165 通信カード V/X GP5-163	サーバモ ニタ モジュール GP5-SM102	ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード GP5-161	暗号プロセッサ カード GP-CP101
A-1			標準搭載 *1				
A-2							
A-3			*2	*2		*2	*2
B-1			*3	*8			
B-2		*6 *7					*6
B-3	*4	*6					*6
B-4	*5	*6		*8			

: 搭載不可を示す

\*1 : LAN カードを標準搭載

\*2 : サーバモニタモジュールが優先、GP5-NC101 は搭載不可

\*3 : FMV-187、GP5-NC101 は搭載不可

\*4 : 外付け

\*5 : GP5-144 のみ (外付け)

\*6 : SCSI アレイコントローラカードが優先

\*7 : GP5-FC101 は搭載不可

\*8 : GP5-162 のみ

\*9 : GP5-CP101 は2 スロット占有する為、GP5-CP101 を搭載したスロットの下段は他のカード搭載不可



## 8 . SCSI カード / SCSI アレイコントローラカード の留意事項 ( 追記 )

( 関連ページ : 5.6.4 「SCSI カード / SCSI アレイコントローラカード / ファイバ チャネルカード の留意事項( 150 ページ )」 )

品名	型名	接続形態・用途
SCSI カード	GP5-123	外付け用、クワ構成時使用
SCSI カード	GP5-125	外付け用、内蔵 DLT エット (GP5-DL351) または内蔵 1/4 インチ CRMT エット (GP5-ML301) 接続用
SCSI カード	GP5-126	ハード ディスクキャビネット (GP5-R1DC3、GP5-R1DC4、GP5S622) 接続用
SCSI カード	GP5-127	外付け用、内蔵 DLT エット (GP5-DL351)、内蔵 1/4 インチ CRMT エット (GP5-ML301)、ハード ディスクキャビネット (GP5-R1DC3、GP5-R1DC4、GP5S622) 接続用
ファイバ チャネルカード	GP5-FC101	ディスクアレイ装置 (F6403B1) 接続用
SCSI アレイコントローラカード	GP5-141	内蔵・外付けのアレイシステム接続用
SCSI アレイコントローラカード	GP5-144	内蔵・外付けのアレイシステム接続用 (外付けアレイの場合 GP5-R1DC3、GP5-R1DC4、GP5S622 接続可能)
SCSI アレイコントローラカード	GP5-145	内蔵・外付けのアレイシステム接続用 (外付けアレイの場合 GP5-R1DC3、GP5-R1DC4、GP5S622 接続可能)
SCSI アレイコントローラカード	GP5-146	内蔵・外付けのアレイシステム接続用 (外付けアレイの場合 GP5-R1DC3、GP5-R1DC4、GP5S622 接続可能)

### ご使用時の注意事項

- SCSI カード / SCSI アレイコントローラカードには、本サーバがサポートしている SCSI 装置を接続して下さい。  
サポートしていない SCSI 装置を接続した場合の動作は保証しません。
- ネットワーク OS をインストールする前に、SCSI カード / SCSI アレイコントローラカードのコンフィギュレーションが終了しており、SCSI コントローラカード配下のシステムドライブまたはシステムディスクが初期化されていることが必要です。
- SCSI アレイコントローラカードの設定 (Advanced Functions) については、「6.2 SCSI アレイコントローラカード使用時の注意」を参照してください。

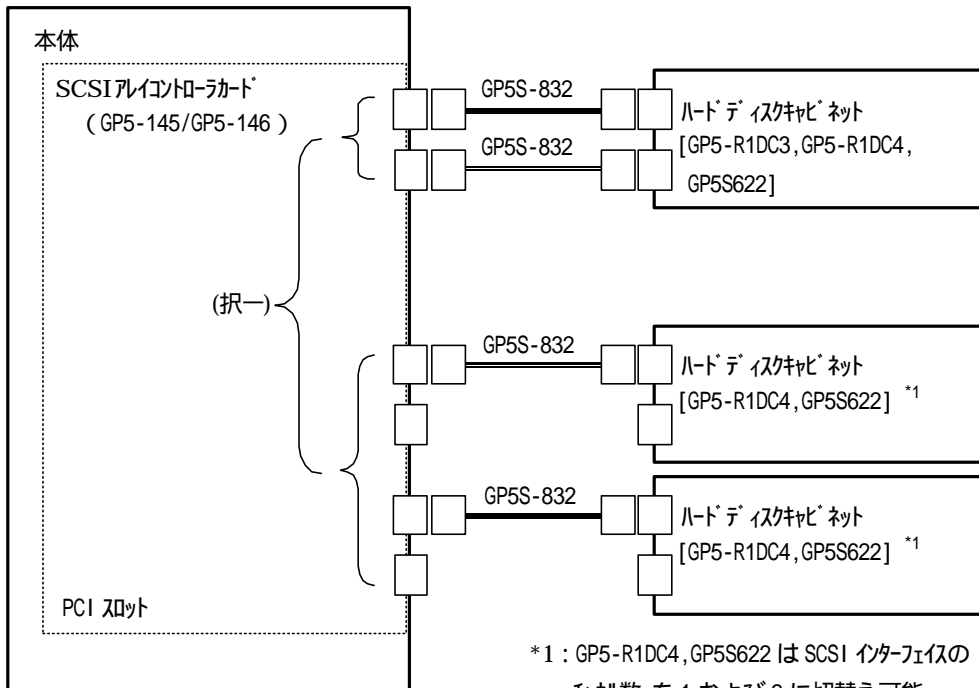


**注意**

SCSI カード (GP5-123/GP5-125/GP5-126/GP5-127) を、本サーバに搭載する場合は、SCSI カードの SCSI Select ユーティリティで、「Host Adapter BIOS (Configuration Utility Reserves BIOS Space)」の機能を無効 (Disabled) に設定してください。詳細は、SCSI カード (GP5-123/GP5-125/GP5-126/GP5-127) 添付マニュアルを参照してください。

(関連ページ：(4)ハードディスクキャビネットを追加し、大容量レイアウトを構築する形態( 155ページ ))

[SCSI アレイコントローラード (GP5-145/GP5-146) にハードディスクキャビネット (GP5-R1DC3、GP5-R1DC4、GP5S622) を接続する場合]



\*1 : GP5-R1DC4, GP5S622 は SCSI インターフェイスのチャネル数を1および2に切替え可能。  
詳細は、ハードディスクキャビネットの取扱説明書を参照してください。

9 . LAN カード (GP5-184/185) の留意事項 (追記)  
 (関連ページ : 5.6.5 「LAN カードの留意事項( 157 ページ) 」)

品名	型名	用途
LAN カード (10BASE-5/2/T)	GP5-181	10BASE-5/2/T 用
LAN カード (100BASE-TX)	GP5-182	100BASE-TX 用
LAN カード (1000BASE-SX)	GP5-183	1000BASE-SX 用
LAN カード (100BASE-TX)	GP5-184	100BASE-TX 用
LAN カード (100BASE-TX)	GP5-185	100BASE-TX 用
ATM-LAN カード	FMV-187	ATM 方式 LAN 接続用

ご使用時の注意事項

- LAN カード (GP5-181/GP5-182/GP5-184/GP5-185) および標準搭載の LAN カード用の LAN ドライバは、サーバ本体添付の LAN ドライバフロッピィディスクを使用してください。
- LAN カード (GP5-183) はカード添付の LAN ドライバを使用してください。
- LAN カード (GP5-181/GP5-182) に添付されている LAN ドライバを使用しないでください。本サーバが正しく動作しません。

IRQ について

LAN カードの IRQ を共有するときは、ご使用になる OS 毎に注意事項があります。

- Windows NT Server4.0 または SBS4.0 の場合

LAN カード (GP5-181/GP5-182/GP5-183/GP5-184/GP5-185) および標準搭載の LAN カードは、他の拡張カードおよび装置と共有できません。

ATM-LAN カード (FMV-187) は、他の拡張カードおよび装置と共有できません。

## 10. インターコネクトカード (GP5-NC101) の留意事項 (追加)

本サーバで使用できるインターコネクトカードを以下に示します。なお、拡張カード共通の留意事項については、「5.6.2 拡張カード共通の留意事項」を参照してください。

品名	型名	概要
インターコネクトカード	GP5-NC101	PCI バス

### インターコネクトカード搭載時の留意事項

- ・インターコネクトカード (GP5-NC101) は、本サーバに 1 枚のみ搭載可能です。
- ・IRQ は、他のカードおよび装置と共有できません。

## 11. 暗号プロセッサカード (GP5-CP101) の留意事項 (追加)

暗号プロセッサカード (GP5-CP101) を搭載することにより、ハードウェアによって保護された鍵を使用した安全な暗号処理を実現できます。なお、拡張カード共通の留意事項については、「5.6.2 拡張カード共通の留意事項」を参照してください。

品名	型名	概要
暗号プロセッサカード	GP5-CP101	PCI バス

### 暗号プロセッサカード搭載時の留意事項

- ・暗号プロセッサカード (GP5-CP101) は、本サーバに 1 枚のみ搭載可能です。
- ・暗号プロセッサカード (GP5-CP101) は、2 スロット占有する為搭載したスロットの下段スロットには他のカードは搭載できません。
- ・IRQ は、他のカードおよび装置と共有できません。

## 12. Windows NT のインストールについて (追記)

(関連ページ: 6.3.1 「インストールの前に( 174 ページ) 」)

### 6.3.1 インストールの前に

#### 再起動時の注意

インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1 分ほど待ってハードディスクのアクセスランプが点灯していないことを確認してから、再起動してください。

SCSI アレイコントローラカードの機能である、バックグラウンド初期化処理中はハードディスクのアクセスランプが点灯していますが、再起動は可能です。バックグラウンド初期化処理については、SCSI アレイコントローラカードに添付の取扱説明書を参照してください。なお、電源切断はしないようにお願いします。バックグラウンド初期化中に電源切断が必要な場合は、SCSI アレイコントローラカードに添付の取扱説明書を参照してください。

### 13 .SBS 4.5 のインストールについて (追加)

ここでは、SBS 4.5を初めてサーバにインストールする方法について説明します。

#### インストール時の留意事項

- インストールを開始する前に、SBS 4.5に添付の「Small Business Serverファーストステップガイド」をご一読ください。
- FAXモデムカードを搭載する場合の注意事項  
FAXモデムカード(FMV-FX531)を使用する場合は、SBS 4.5をインストールする前に、FAXモデムカードのシステム資源などを設定する必要があります。設定方法については、「5.6.9 FAXモデムカード」を参照してください。
- FAXモデムカードドライバをインストール時の注意事項  
SBS 4.5インストール後、FAXモデムカード(FMV-FX531)をインストールするときは、本サーバに添付されている「内蔵FAXモデムCFGファイル」のフロッピディスクを使用してください。FAXモデムカードに添付されている「Microsoft® Windows® 95 FMV-FX531 INF file」フロッピディスクは使用しないでください。このフロッピディスクはWindows95用です。
  - ・ SBS 4.5のインストールにはディスク容量2GB以上の空き容量が必要です。

#### インストール手順

以下に、SBS 4.5をインストールする手順について説明します。SBS 4.5のインストールは、Windows NT Server 4.0と基本的に同じです。ここでは、Windows NT Server 4.0のインストール手順と異なる箇所を中心に説明します。

以下の説明では、次の装置を対象にしています。

- サーバ本体に標準実装のSCSIホストアダプタをご使用の場合  
サーバ本体に標準実装のSCSIホストアダプタ配下にSBS 4.5をインストールするハードディスクが接続されており、またサーバ本体内にネットワークカードおよびFAXモデムカード(FMV-FX531)が装着されている装置を対象にしています。
- SCSIアレイコントローラカードをご使用の場合  
サーバ本体に実装のSCSIアレイコントローラカード配下にSBS 4.5をインストールするハードディスクが接続されており、またサーバ本体内にネットワークカードおよびFAXモデムカード(FMV-FX531)が装着されている装置を対象にしています。

1. 電源投入前にSBS 4.5セットアップディスク#1をセットします。  
SBS 4.5セットアップディスク#1をフロッピディスクドライブにセットし、サーバに電源を入れます。  
このとき、CD-ROMドライブにCD-ROMが入っていないことを確認してください。
2. 以降は、Windows NT Server 4.0のインストール手順とほぼ同様です。
  - サーバ本体に標準実装のSCSIホストアダプタをご使用の場合  
「6.3.3 Windows NT Server 4.0のインストール」の「インストール手順」の手順2~7を参照してください。
  - SCSIアレイコントローラカードをご使用の場合  
「6.3.4 Windows NT Server 4.0のインストール(SCSIアレイコントローラカード使用時)」の「インストール手順」の手順2~8を参照してください。

- Windows NTをインストールするハードディスクユニットのパーティションを選択する旨のメッセージが表示されます。  
画面に従って、2GBのパーティションを作成します。  
必ずNTFSファイルシステムでフォーマット後、インストールを続行してください。
- メッセージに従って、インストールを続行してください。
- SCSIドライバのフロッピーディスクを要求する画面が表示されます。

次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください  
「Symbios Logic PCI (53c8xx)」

が表示されたら、本体添付のセットアップディスク # 6 をセットして[Enter]キーを押して下さい。

- サーバ本体に標準実装のSCSIホストアダプタをご使用の場合  
SCSIホストアダプタのドライバのフロッピーディスクを要求する画面が表示されます。

次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください  
「Symbios PCI High Performance Driver」

が表示されたら、本体添付のセットアップディスク # 5 をフロッピードライブにセットして [ Enter ] キーを押して下さい。

- SCSIアレイコントローラカードをご使用の場合  
SCSIアレイコントローラカードドライバのフロッピーディスクを要求する画面が表示されます。

次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください

[GP5-141A搭載時]  
「DAC960 Software Kit Version 1.06」

[GP5-144/GP5-145/GP5-146搭載時]  
「GP5-143/144/145/146 Windows NT Drivers Disk」

が表示されたら、SCSIアレイコントローラカードソフトウェアキットまたはドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットして[Enter]キーを押してください。

- 自動的に再起動します。  
このとき、再起動処理が開始したらすぐに、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。
- FAXモデムカードドライバをインストールします。  
FMV-FX531を搭載した場合セットアップ中に、COM3に「未検出のモデム」として検出します。  
・[変更]をクリックします。

- ・RASの再編成に関するメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
- ・モデムのプロパティのダイアログボックスが表示されますので、[削除]をクリックし続けて[はい]をクリックします。
- ・[追加]をクリックし、「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、[次へ]をクリックします
- ・[ディスク使用]をクリックし、本体添付のセットアップディスク#1をフロッピーディスクドライブにセットし、[OK]をクリックします。
- ・「FMV-FX531」を選択し、[次へ]をクリックします。
- ・「選択したポート」の「COM3」を選択し[次へ]をクリックします。
- ・「システムを再起動する必要があります」というメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
- ・モデムのダイアログが表示されるので、そこで「変更」をクリックする。
- ・「所在地情報」のダイアログボックスが表示されますので、必要な情報を入力し、[次へ]をクリックします。
- ・[完了]をクリックします。
- ・[閉じる]をクリックし、「モデムのプロパティ」のページを閉じます。
- ・ダイヤルネットワークの構成に関するダイアログボックスが表示されますので、「未検出のモデム」を選択し、[削除]をクリックします。
- ・ポートCOM3を削除するかどうかのメッセージが表示されますので、[はい]をクリックし、続けて[追加]をクリックします。
- ・「RASデバイスの追加」のダイアログボックスが表示されますので、「COM3-FMV-FX531」を選択し[OK]をクリックし、続けて[続行]をクリックします。
- ・今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- ・再起動処理が開始したらすぐにフロッピーディスクを取り出してください。

#### 注意) 再起動時の注意

インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1分ほど待ってハードディスクのアクセスランプが点灯していないのを確認してから、再起動してください。

- 再起動後、本体添付のLANドライバをインストールします。
  - ・セットアップ中に「ハードウェア確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[変更]をクリックします。
  - ・コントロールパネルが表示されますので、「ネットワーク」をダブルクリックします。
  - ・「ネットワーク」ダイアログボックスの「アダプタ」タブを選択し、現在表示されている「Intel 82557-based Ethernet PCI Adapter」を選択し、[削除]をクリックします。
  - ・今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
  - ・再起動後、LANドライバが無いためイベントログに複数のエラーが記録されますが無視してください。再度「ハードウェアの確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[変更]をクリックします。
  - ・コントロールパネルが表示されますので、「ネットワーク」をダブルクリックします。

- ・「ネットワーク」ダイアログボックスの「アダプタ」タブを選択し、[追加]をクリックします。
  - ・[ディスク使用]をクリックし、本体添付のLANドライバの組み込みを行ってください。LANドライバのインストール方法に関する詳細は、「6.x.x Windows NT Server対応LANドライバ」を参照して下さい。
- TCP/IPのパラメータには、以下の値を設定してください。

IP アドレス : 10.0.0.2  
 サブネット マスク : 255.255.255.0  
 プライマリ WINS サーバー : 10.0.0.2  
 セカンダリ WINS サーバー : 10.0.0.2

- ・今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- ・再起動処理が開始したらすぐにフロッピーディスクを取り出してください。

#### 注意) 再起動時の注意

インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1分ほど待ってハードディスクのアクセスランプが点灯していないのを確認してから、再起動してください。

11. 自動的にサービスパック4のインストールが開始され、完了すると再起動します。  
再起動後、SBS 4.5セットアップの画面に従って続行します。
12. 運用に入る前に「システム修復ディスク」を作成することをお勧めします。  
作成方法は、後述の「システム修復ディスクについて」を参照してください。

#### SBS 4.5インストール後の注意事項

以下に、SBS 4.5インストール後の注意事項を示します。

- SBS 4.5にはWindows NT Service Pack 3以前を絶対にインストールしないでください。誤動作の原因になります。
- FAXモデムカードを使用するCOMポートの設定について  
SBS 4.5インストール直後は、シリアルポートにCOM4は設定されていません。FAXモデムカードをCOM4で使用する場合は、COM4を追加設定する必要があります。ただし、SSUおよびFAXモデムカード側で事前にCOM4を設定後に、SBS 4.5をインストールした場合は、異なるCOMポートにインストールされてしまいます。その場合は、一旦FAXモデムカードを削除し、COM4を追加設定し、再度FAXモデムカードを追加してください。また、FAXプリンタを使用する場合も、FAXモデムカードと同様に、FAXプリンタをいったん削除してから、追加してください。したがって、SBS 4.5でCOM4を使用する場合は、SBS 4.5をインストールしてから、装置側のCOM4の設定を行う必要があります。以下に、COM4の追加設定方法を示します。
  1. 「コントロールパネル」から「シリアルポート」を選択します。  
現在使用できるシリアルポートの一覧が表示されます。
  2. 「追加(A)...」を選択します。  
「新しいポートの詳細設定」画面が表示されます。



3. I/Oポートアドレス、割り込み番号(IRQ)を正しく設定し、[OK]を選択します。  
SSUで設定した値およびFAXモデムカードに設定した値と合わせます。
4. 再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、「再起動する」を選択し、再起動します。

FAXモデムおよびFAXプリンタの追加 / 削除方法の詳細については、SBS管理コンソールのオンラインガイドで、FAXの項目を参照してください。

### システム修復ディスクについて

SBS 4.5のセットアップ後、またはシステム構成の変更後に、「システム修復ディスク」を作成してください。万一、Windows NTシステムファイル、システム構成、およびスタートアップ時の環境変更などが損傷を受けた場合は、修復ディスク上に保存した修復情報を使ってこれらを再構築できます。

#### 修復ディスクの作成方法

[用意するもの]

2HDのブランクフロッピーディスク1枚

1. フロッピーディスクに「システム修復ディスク」というラベルを貼り、フロッピーディスクドライブにセットします。
2. Small Business Serverコンソールの[その他のタスク] [ディスクの管理] [システム修復ディスクの作成]をクリックします。「システム修復ディスクを作成する」というヘルプが開きますので、ヘルプの指示に従ってシステム修復ディスクの作成を行ってください。

#### システムの修復方法

[用意するもの]

- 2HDのブランクフロッピーディスク1枚
- SBS 4.5 Disc1
- SBS 4.5セットアップディスク3枚
- システム修復ディスク（上記で作成したもの）

[SBS 4.5のシステムを修復する前に]

SBS 4.5に添付されている「セットアップディスク#2」ではシステムの修復ができません。以下の手順に従って、「セットアップディスク#2」を準備します。

1. 2HDフロッピーディスクに「システム修復用セットアップディスク#2」というラベルを貼り、フォーマットします。
2. 「システム修復用セットアップディスク#2」に、SBSのセットアップディスク#2を複写してください。
3. 「システム修復用セットアップディスク#2」内の「WINNT.SIF」ファイルを削除してください。

ここで作成した「システム修復用セットアップディスク#2」をセットアップディスク#2

の代わりに使用して、システムを修復してください。

#### [システムの修復方法]

1. 電源投入前に作成したセットアップディスク#1を準備します。  
セットアップディスク#1をフロッピーディスクドライブにセットし、サーバに電源を投入します。
2. Windows NT Serverセットアップ初期画面が表示されます。  
セットアップ初期画面の指示に従って、セットアップディスクの交換を行います。
3. Windows NT Serverセットアップの「セットアップへようこそ」の画面で、「R」キーを押して修復を選択します。  
セットアップ画面のメッセージに従って、システムを修復します。  
CD-ROMドライバ、およびSCSIドライバのインストールについては、「インストール手順」を参照してください。
4. 次のメッセージが表示されます。

#### Windows NTセットアップ

[ファイル名]は、セットアップがWindows NTをインストールしたときにコピーしたオリジナルのファイルではありません。

ここでは必ず[Esc]キーを押し、ファイルをスキップしてください。

もし、[A]キー、または[Enter]キーを押し、ファイルを上書きしてしまうと、システムは正常に動作しなくなり、再インストールしなければなりません。

5. 自動的に再起動します。

#### ポイント

- システムの修正を行うと、情報によっては新規インストール状態に戻ってしまう場合があります。システムの修復後、再設定する必要があります。
- SBS 4.5 標準添付のアプリケーションについて、再インストールが必要になる場合があります。
- システムファイル、システム情報の損傷が大きい場合は、SBS 4.5の再インストールが必要になる場合があります。その場合は、「インストール手順」に従って再インストールしてください。
- システムのコンポーネントを変更したり、追加したりした場合、その度に修復ディスクを作成しなおしてください。

## SCSIアレイコントローラカード 管理ソフトウェアのインストール

SCSIアレイコントローラカードをご使用の場合、管理ソフトウェアをインストールします。

### 管理ソフトウェアのスタートアップグループへの登録

SCSIアレイコントローラカードに添付のマニュアルに従って、管理ソフトウェアをインストールしてください。

### 管理ソフトウェアについて

管理ソフトウェアには、DACMON (Disk Array Controller Monitor) ユーティリティと DACADM (Disk Array Controller Administration) ユーティリティがあります。

DACMONユーティリティは、アレイ状況の監視を行うためのソフトウェアです。

DACADMユーティリティは、アレイの管理を行うためのソフトウェアです。

詳細は、SCSIアレイコントローラカードに添付の取扱説明書を参照してください。

## 14 LAN ドライバ について (訂正)

(関連ページ : 6.5 「LAN ドライバ について( 200 ページ) 」)

Windows NT ドライバを追加する場合

訂正前	訂正後
5 「Intel EtherExpress PRO Adapter」を選択します。	5 「Intel(R) PRO Adapter」を選択します。

Windows NT と同時にインストールする場合

訂正前	訂正後
4 「Intel EtherExpress PRO Adapter」を選択します。	4 「Intel(R) PRO Adapter」を選択します。

(関連ページ : 6.5.2 「LAN ドライバ の注意事項( 201 ページから) 」)

オンラインヘルプを参照する場合は、以下の方法で参照してください。

### オンラインヘルプの参照方法

- 1 コントロールパネルから『ネットワーク』をダブルクリックします。
- 2 『アダプタ』をクリックし、『プロパティ』をクリックします。
- 3 『ヘルプ』をクリックして表示される内容を参照してください。

なお、『ヘルプ』参照時は、以下の点にご注意ください。

インテル社のオンラインサービスからダウンロードできるドライバを、本サーバで使用しないください。

LAN カードの診断を行う場合は、以下の方法で実施してください。

### LAN カード診断プログラムの使用方法

- 1 コントロールパネルから『ネットワーク』をダブルクリックします。

- 2 『アダプタ』をクリックし、『プロパティ』をクリックします。
- 3 アダプタプロパティ表示後、『Diagnostics』をクリックし、診断を行ってください。

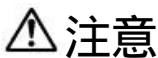
#### ローカルアドレスの設定

Windows NT でローカルアドレスを設定する場合は、次の方法で行ってください。

- 1 コントロールパネルから『ネットワーク』をダブルクリックします。
- 2 『アダプタ』をクリックし、『プロパティ』をクリックします。
- 3 アダプタプロパティ表示後、『Advanced』をクリックします。
- 4 『Locally Administered Address』を選択し、ローカルアドレスを指定します。  
「02」で始まる 16 進 12 桁を入力してください。  
グローバルアドレスに戻したい場合は、「0」を指定してください。
- 5 変更確認のメッセージが表示されるため、『OK』をクリックします。
- 6 設定終了後、Windows NT を再起動します。

#### 全二重（デュプレックス）モードの設定

全二重モードの自動認識機能（オートネゴシエーション）を備えるスイッチング・ハブに接続されている場合は、自動的に全二重モードで動作します。自動認識機能を備えておらず固定的に全二重モードで動作可能なスイッチング・ハブに接続されている場合は、次の方法で全二重モードに設定ください。



**注意**

本カードを下記の方法で、固定的に全二重に設定する場合は、ハブ側も固定的に全二重に設定してください。

- 1 コントロールパネルから『ネットワーク』をダブルクリックします。
- 2 『アダプタ』をクリックし、『プロパティ』をクリックします。
- 3 アダプタプロパティ表示後、『Advanced』をクリックします。
- 4 「Speed」指定を『Auto Detect』から、伝走路が100BASE-T の場合は『100Mbps』に変更します。
- 5 「Duplex Mode」の設定を『Full-Duplex』に変更します。
- 6 システムを再起動します。

#### 6.5.3 その他の注意事項

- Windows NT で「アダプタ」の設定を変更する場合は、終了後システムを必ず再起動するようにしてください。
- ハブスイッチまたはルータを経由せず、クロスケーブルを用いて直接他装置と接続する運用はできません。
- VLAN 機能、Priority Packet (802.1p/802.1q Tagging) 機能、Adapter Treaming 機能は使用しないで下さい。

## 15 . トラブルシューティング ( 追記 )

( 関連ページ : 8.1 「トラブルシューティング( 220 ページ) 」 )

本サーバを操作してみて、うまく動作しない場合や CRT ディスプレイにエラーメッセージが表示される場合、「故障かな?」と思ったときは、以下のことを確認してください。

なお、オプションの装置については、オプション装置に添付の取扱説明書を参照ください。

サーバ本体

- ・ CRTディスプレイにエラーメッセージが表示された。

「8.2 エラーメッセージ」を参照してください。

なお OS がインストールされていない場合は、以下のメッセージが表示されます。

また、標準 LAN カードに LAN ケーブル ( ハブ ) を接続しているかによりメッセージの内容が異なる場合があります。

- LAN ケーブル / ハブ接続あり

Intel LANDesk (R) Service Agent, Version 0.99b

Copyrights(C) 1997 Intel Corporation All right reserved.

DHCP MAC ADDR: xx xx xx xx xx xx

PXE-E52: No IP address received from DHCP or BOOTP

PXE-MOF: Exiting LANDesk Service Agent.

- LAN ケーブル / ハブ接続なし

Intel LANDesk (R) Service Agent, Version 0.99b

Copyrights(C) 1997 Intel Corporation All right reserved.

PXE-E61: Media test failure, check cable.

PXE-MOF: Exiting LANDesk Service Agent.

- LAN ケーブル / ハブ接続関係なし

Operating System not found

このようなメッセージが、CRT ディスプレイに表示された場合は、OS をインストールしてください。

「第6章 ソフトウェアのインストール」を参照してください。

このメッセージが表示されたときには、ソフトリセット ( Alt + Ctl + Del ) によるリブートはできません。サーバ前面のリセットスイッチを使用してください。

注) POST 時に以下のようなメッセージが表示されることがありますが、運用上問題ありません。

PCI System ERROR on Bus/Device/Function 0058h

## 16. 本体仕様(CPU 周波数/HDD 増設単位 変更) (訂正)

( 関連ページ: 「 A.1 本体仕様( 232 ページ) 」 )

GRANPOWER5000 モデル580(Pentium® III Xeon™ 550MHz)

モデル	F D	NT4.0 タイプ A (TeamWARE Office 添付タイプ)	NT4.0 タイプ B (Lotus Notes 添付タイプ)	NT4.0 タイプ C (Exchange Server 添付タイプ)
型名 ( 上段:512KB モデル 下段 1MB モデル)	GP55811A5 GP55821A5	GP55811NA5 GP55821NA5	GP55811NB5 GP55821NB5	GP55811NC5 GP55821NC5
CPU	周波数 / キャッシュ	Pentium® III Xeon™ 550MHz/ 1次キャッシュ:32KB 2次キャッシュ:512KB/1MB		
	マルチ数	1 (最大4)		
メモリ	標準	256MB(64MB DIMM × 4枚)		
	増設単位	128/256/512/1024MB(DIMM 4枚単位)		
	最大	4GB(256MB DIMM × 16枚)		
ビデオ RAM 容量	2MB VGA チップ:CL-GD5480(PCI)			
グラフィックス	1280×1024、1024×768、800×600、640×480 表示色は解像度 やOSなどにより異なる			
サーバモニタモジュール	オプション			
内蔵5インチベイ		3ベイ(標準搭載含む) 種類:24倍速CD-ROM、DAT、MO、DLT(2ベイ占有)、1/4インチCRMT、TRAVAN NS		
	標準搭載	24倍速CD-ROM (SCSI)		
内蔵3.5インチベイ	8ベイ(標準搭載HDDを含む) 全ベイホットプラグ可能			
ハード ディスク	標準	オプション	9.1GB(7200rpm)×1(SCSI)	
	増設単位	9.1GB/18.2GB/36.4GB(Ultra2 Wide SCSI)		
	内蔵最大	36.4GB × 6ベイ + 18.2GB × 2ベイ = 254.8GB		
ディスクアレイ	オプション			
拡張スロット	PCI × 6 (標準搭載LANカード×1を含む)、PCI・ISA共用×1			
フロッピーディスク ドライブ	3.5インチFDD(720KB/1.44MB)標準搭載			
ネットワーク	LAN(100BASE-TX/10BASE-T)×1(PCIスロット×1占有)			
インタフェース	シリアル×2、パラレル×1、キーボード、マウス、モニタ			
キーボード/マウス	標準添付			
外形寸法 ( 横幅×奥行き×高さ)	307×700×474mm			
重量	最大60Kg			
消費電力	最大630W(最大2、268kJ/h)			
電源	AC100V(50/60Hz)二極接地型			
電源ユニット	標準で2台搭載、最大3台搭載可能:3台目は冗長電源 (ホットプラグ対応、電源ユニット毎にACコンセントが必要)			
冗長ファン	有り(ホットプラグ対応)			
エネルギー消費効率 (省エネ法)	0.21			

モデル	NT4.0 アレイタイプ1 (9.1GB x 3)	NT4.0 アレイタイプ2 (18.2GB x 3)	FD (ラックマウント) 19"Rack 無し
型名 (上段:512KB モデル 下段:1MB モデル)	GP55812T5 GP55822T5	GP55812V5 GP55822V5	GP55811RA5 GP55821RA5
CPU	周波数 / キャッシュ	Pentium® III Xeon™ 5 5 0MHz/ 1次キャッシュ: 3 2KB 2次キャッシュ: 5 1 2KB/ 1MB	
	マルチ数	2 (最大4)	1 (最大4)
メモリ	標準	2 5 6MB(6 4MB DIMM x 4枚)	
	増設単位	1 2 8/2 5 6/5 1 2/1 0 2 4MB(DIMM 4枚単位)	
	最大	4GB(2 5 6MB DIMM x 1 6枚)	
ビデオ RAM 容量	2MB VGA チップ: CL-GD5480(PCI)		
グラフィックス	1 2 8 0 x 1 0 2 4、1 0 2 4 x 7 6 8、8 0 0 x 6 0 0、6 4 0 x 4 8 0 表示色は解像度 やOSなどにより異なる		
サーバモジュール	オプション		
内蔵5インチベイ	3ベイ (標準搭載含む) 種類: 2 4倍速 CD-ROM、DAT、MO、DLT(2ベイ占有)、1/4インチ CRMT、TRAVAN NS		
	標準搭載	2 4倍速 CD-ROM (SCSI)	
内蔵3.5インチベイ	8ベイ (標準搭載HDDを含む) 全ベイホットプラグ可能		
ハード ディスク	標準	9.1GB(7200rpm) x 3	18.2GB(7200rpm) x 3
	増設単位	9.1GB/18.2GB/36.4GB(Ultra2 Wide SCSI)	
	内蔵最大	36.4GB x 6ベイ + 18.2GB x 2ベイ = 254.8GB	
ディスクアレイ	標準	オプション	
拡張スロット	PCI x 6 (標準搭載 LAN カード x 1を含む)、PCI・ISA 共用 x 1		
フロッピディスク ドライブ	3.5インチ FDD (720KB/1.44MB) 標準搭載		
ネットワーク	LAN(100BASE-TX/10BASE-T) x 1 (PCI スロット x 1占有)		
インタフェース	シリアル x 2、パラレル x 1、キーボード、マウス、モニタ		
キーボード/マウス	標準添付	オプション	
外形寸法 (横幅 x 奥行き x 高さ)	307 x 700 x 474mm		483 x 680 x 307mm (奥行きは取手部含まず) (占有ユニット: 7U)
重量	最大60Kg		
消費電力	最大630W(最大2, 268kJ/h)		
電源	AC 100V(50/60Hz) 二極接地型		
電源ユニット	標準で2台搭載、最大3台搭載可能: 3台目は冗長電源 (ホットプラグ対応、電源ユニット毎にACコンセントが必要)		
冗長ファン	有り(ホットプラグ対応)		
エネルギー消費効率 (省エネ法)	0.21		

## 17. 搭載・増設可能なハードディスク仕様 (追加)

- GP5-HDH97/GP5-HDH84

型名	GP5-HDH97	GP5-HDH84
インターフェース	Ultra2/Wide SCSI または Ultra/Wide SCSI (注1)	
記憶媒体	3.5 インチハードディスク	
記憶容量(注2)	9.1GB	18.2GB
セクタ容量	512Byte	
ディスク枚数	2	4
ヘッド数	4	8
シリンダ数	12,000	
最大データ転送速度	40MB/s (Ultra/Wide) 80MB/s (Ultra2/Wide)	
平均回転待ち時間	4.167ms	
平均シーク時間	7.0ms(Read) 7.5ms(Write)	
回転数	7200rpm	
外形寸法(WxDxH)	101.6 x 146.0 x 25.4 (mm)	
重量	0.6kg	

- GP5-HDH98/GP5-HDH85/GP5-HDH61

型名	GP5-HDH98	GP5-HDH85	GP5-HDH61
インターフェース	Ultra2/Wide SCSI または Ultra/Wide SCSI (注1)		
記憶媒体	3.5 インチハードディスク		
記憶容量(注2)	9.1GB	18.2GB	36.4GB
セクタ容量	512Byte		
ディスク枚数	3	5	10
ヘッド数	5	10	19
シリンダ数	9,866		10,200
最大データ転送速度	40MB/s (Ultra/Wide) 80MB/s (Ultra2/Wide)		
平均回転待ち時間	2.993ms		
平均シーク時間	5.2ms(Read) 5.8ms(Write)		5.5ms(Read) 6.0ms(Write)
回転数	10025rpm		
外形寸法(WxDxH)	101.6 x 146.0 x 25.4 (mm)		101.6x146.0x41.3(mm)
重量	0.7kg		1.1kg

(注1) : SCSI バスの環境に合わせて自動的に切り替わります。

(注2) : 記憶容量は、フォーマット時、1GB=1000<sup>3</sup>B 換算です。



## 18. 割り込みレベル / DMAチャネル

(GP5-184/185, GP5-145/146, GP5-NC101, GP5-CP101 追加) (追記)

(関連ページ: 「B.1 割り込みレベル / DMAチャネル( 265 ページ) 」)

(型名)	割り込みレベル															DMAチャネル							設定方法	備考			
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	NONE	0	1	2	3	4			5	6	7
GRANPOWER5000 モデル580				注	注			注																		SSU BIOS セットアップ	
GRANPOWER5000 モデル580標準実装 SCSIコントローラ(PC1)								*1														未使用				SSU	PCIバス
GRANPOWER5000 モデル580標準搭載 LANカード (PC1)																						未使用				SSU	PCIバス
SCSIアレイコントローラカード (GP5-145)																						未使用				SSU	PCIバス
SCSIアレイコントローラカード (GP5-146)																						未使用				SSU	PCIバス
LANカード (GP5-184)																						未使用				SSU	PCIバス
LANカード (GP5-185)																						未使用				SSU	PCIバス
インターネットカード *2 (GP5-NC101)																						未使用				SSU	PCIバス
暗号プロセッサカード (GP5-CP101)																						未使用				SSU	PCIバス

:それぞれの拡張カードで使用できる割り込みレベル、DMAチャネルを示します。( は初期値)

\*1: オンボード SCSI において、IRQ 7は使用できません。

\*2: 他のカードと共有することはできません。

割り込みレベルの2と9は割り込み制御回路内で使用していますので、割り当てられません。

注) その機能を使用しない場合、Disabled への変更可能。

は標準搭載のネットワークコントローラで使用。

はオンボード SCSI コントローラで使用。

はアレイタイプに標準搭載の SCSI アレイコントローラカードで使用。